官民連携新技術研究開発事業 新技術概要書

			本概要書	作成年月	平成25年 1月31日		
1. 新技術名	パイプラインの保護エのプレキャスト化の研究						
2. 開発会社	ジオスター	−株式会社 鶴見=	ンクリート棋	式会社			
	会社名ジオスター株式会社						
	住所 東京都文京区西片1-17-8 K			Sビル			
3. 資料請求先	担当課	技術部 技術開発チーム		担当者	高松芳徳		
	電話	03-5844-1203		FAX	03-5844-1221		
	ホームへ゜ーシ゛	・ジ http://www.geostr.co.jp/					
	大分類			小分類			
4. 工種区分	4. 水路工		401. 水路工				
5. 新技術の概要	プレキャストパネルの組立工法であり、次のような特徴があります。 ・築造工期が短いため、パイプライン全体の工期が短縮される。 ・早期の交通開放ができる。 ・現場での型枠工、鉄筋工等の熟練工を必要とせず、品質の向上が図れる。 ・部材の形状は、平板(パネル)とし、輸送や現場組立面においても軽量化による効率化が図れる。						
6. 適用範囲(留意点)	適用範囲 ・プレキャストコンクリートの設計基準強度 fck=35N/mm2 ・側壁は、3辺単純支持の長方形板、頂板は4辺単純支持として計算 ・パイプライン保護工(制水弁保護工、空気弁保護工、流量計保護工) 留意点 ・保護工の設置がパイプライン敷設に合わせて行われるため、各保護工毎にプレキャストパネルの組立作業が発生するなど連続的な施工ができない場合は、機械損料の低減が難しい。						

7	7. 従来技術との比較		新技術	比較する従来技術 (当初の工法・標準案)	比較の根拠			
	概要図 T法名 経済性(直接工事費) 工程 品質 安全性 施工性		報告の日報をイネー ・		_			
			プレキャスト工法	場所打ち工法	・工期短縮の経済効果を、 積算上に反映することが難			
			従来技術と同程度		- 6号分水工			
			6日/基					
			従来技術より向上					
			従来技術より向上					
			従来技術より向上					
	周辺環境へ	閉辺環境への影響 従来技術より向上			・道路の占用期間が短縮できる			
8	8. 特許		特許第3854987号(登録日平成18年9月22日)					
Ĉ	9. 実用新案							
10	0. 実績 -	農水省						
	0. 关模	その他	発注者:茨城県江戸崎土地改良事務所 工事名:411-0606-08 かんがい排水事業(一般型・県営) 新利根上流地区第7工区長戸幹線用水路工事 工 種:制水弁工					
1	1. 備考							